

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 30 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 1 日 作成

事務事業名	ハンセン病啓発事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名 塩地由梨
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進	所属班	啓発教育班他	(内線) 2427
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	①
	01	03	01	08	10860			コスト削減優先度評価結果	②
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度			年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～	年度)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】・ハンセン病を正しく理解するための人権啓発事業
○ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて、講演会等の催しを実施する。
具体的には、講演、パネル展示などを実施しているほか、広報に啓発記事の掲載をする。
【業務の流れ】
①事業内容、日時、場所等の検討と決定。②講師依頼と展示物等の手配。③開催案内チラシの作成と配布及び開催の周知を図る。
④講演会等の実施 ⑤アンケート等の実施。⑥アンケート結果の解析。
【主な予算費目】報償費、消耗品費、印刷製本費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ハンセン病問題講演会6月28日(土)ヴィーブル文化会館にて午後開催 講師 工藤昌敏様 菊池恵楓園 自治会会長 演題「偏見の歴史」 参加者 276名	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ハンセン病問題講演会6月13日(土)ヴィーブル文化会館にて午前開催予 定 講師小野友道様熊本保健科学大学学長 演題「ハンセン病とはどんな 病気」一心と身体の痕跡一
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民 市内事業所社員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 講演会等の開催回数 回 イ 参加者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ハンセン病を正しく理解してもらう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人口 人 イ 市内従業者数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 人権を正しく理解するようになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 正しく理解した参加者の割合 % イ 学習機会への参加者で正しく理解した人の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移										
	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)	
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	170	161	148	103	196	215		215
	(A) 事業費計	千円	170	191	148	103	196	215		215
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	3	7	7	7	7	7	7		
延べ業務時間	時間	80	160	200	210	200	200	200		
(B)人件費計	千円	318	637	796	836	796	796	796		
トータルコスト(A)+(B)	千円	488	828	944	939	992	1,011	1,011		

活動指標	ア 回 イ 人	73	247	600	276	350	400	450	目 標 合 計 数 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア 人 イ 人	53,500	54,000	55,000	54,400	55,000	55,500	56,000	
成果指標	ア % イ %	100	100	100	100	100	100	100	
上位成果指標	ア 人 イ %	73	247	600	276	350	400	450	
		90.25	95.7	91.5		92	92.5	93	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、町民のハンセン病に対する正しい知識の普及・啓発と、また、療養所入所者と町民との相互交流をより進めていくために開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
取り組みを始めた頃に比べると、市民のハンセン病に対する理解は深まってはいるが、平成15年の県内で発生した菊池恵楓園入所者に対するホテル宿泊拒否事件でもわかるように、差別意識は、完全には解消されていない。また、20年11月の市民アンケート調査からも菊池恵楓園を知らない人が多い。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
菊池恵楓園入所者自治会からも、本事業を開催していくことを要望されている。

事務事業名	ハンセン病啓発事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ハンセン病啓発事業は、市民の人権意識の高揚につながり、正しい理解が広がれば、人権が尊重される社会づくりに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ハンセン病を正しく理解することを推進していくことは、国の施策でもあり、療養所所在市町村としても、不可欠なので、事業を進めていくことは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を市民としており、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 参加者の理解促進は図れているので講演会における成果は満たされている。今回は前年度より参加者数はふえてきたがまだ、参加者が少ないので参加者が増えるように努力する必要がある。まだ市民の中には理解促進を図る必要のあるひとたちがいるので、開催場所を検討し、さらなる参加者数の向上を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現在でもハンセン病に対する差別意識は解消されておらず、本事業を廃止・休止すれば、差別意識の解消には至らず、差別が残る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はなく統廃合はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 講師への謝金も標準の金額にて交渉している講演会チラシも回覧に変更済み。啓発事業を推進するうえでは、事業費は応分であり、これ以上の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 本事業にも、職員は、小人数で対応しており、また、委託事業にもそぐわない。内容、講師の設定、他のイベントとの日程の調整に時間を要している。参加者へのPRの仕方、各学校(10校)を回ってチラシを配布している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市民全般に事業への参加を呼びかけており、また、すべての市民がハンセン病を正しく理解することが必要であるため、本事業を開催することは、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、もっと多くの人に参加してもらう。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 本事業について事業内容等全般を再度検討し、より多くの市民が参加できるようにする。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

ハンセン病啓発事業に関する事務分担を、担当する課の段階から検討し、成果が向上するようにする。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	8	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)